

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	さくら児童館児童館事業	所管	市民経済部 さくら児童館
			TEL 2998-5912

事業の目的 (何の為に 行うか)	児童の健全育成を図るため、遊び場を通じて健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域組織活動の育成支援や子育て支援を目的とすると共に、安全な場所を提供する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	0歳から18歳未満(乳幼児については保護者同伴)	対象とした数	54,555	人
		実際に 利用した数	16,967	人

活動の内容	(何を したか)	1. 体力増進活動(つなひき大会・ゲームトライアル・風船羽子板大会・プールあそび・ミニミニうんどうかい・なわとび認定会・等) 2. 情操を豊かにする活動(さくら祭・オセロ大会・七夕かざり・お月見団子づくり・あみもの教室・おもちつき・かるた大会・双六ゲーム・紙芝居・映画会・こままわし教室・工作教室・けんだま教室 等) 3. 地域組織団体等との共催事業(おもちゃの病院) 4. 子育て支援活動(幼児グループ活動・乳幼児グループ及び子育てサークルの自主活動支援 等)							
活動実績	項目名	開館日数	294	項目名	1日平均利用者	57	項目名	主催事業	53
			----- 単位 日			----- 単位 人			----- 単位 回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,779	3,782	28,206	83.2

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用者	年間利用者数	18000	16967	94.0
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無	有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了			
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	030906	TEL	2998-5912
事業コード	030912		さくら児童館児童館事業			
開始年度	昭和 58 年度		年度	一	終了年度	平成 年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市児童育成環境整備計画(所沢市エンゼルプラン)/所沢市次世代育成支援行動計画			児童福祉法/所沢市立児童館設置及び管理条例/同施行規則
	関連・類似事業				
総計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱 1 子どもたちの健全育成 小柱 (3)子どもたちの居場所づくり

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		・H19市民意識調査における施策の順位...43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ... H19 ○ H20 ○	
	コード		コード		コード	
	事業開始の背景	都市化や地域の自然や遊び場の減少、核家族化の進行、女性の就労等の増加により、児童を取り巻く環境が大きく変化してきているなかで、児童の健全育成を図るため、地域における児童健全育成の拠点及び環境づくりが児童福祉法の立場から必要となった。				

④前年評価と改善点	目的(何のために行か、具体的に) 児童の健全育成を図るため、遊び場を通じて健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域組織活動の育成支援や子育て支援を目的とすると共に、安全な場所を提供する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか) 0歳から18歳未満(乳幼児については保護者同伴)			利用数の考え方 年間の児童館利用者数						
	対象数	単位	平成 18 年度	54,823	人	利用数	単位	平成 18 年度	17,057	人
			平成 19 年度	54,555	人			平成 19 年度	16,967	人
事業の具体的な内容及び実施方法 1. 体力増進活動(つなひき大会・ゲームトライアル・風船羽子板大会・プールあそび・ミニミニうんどうかい・なわとび認定会・等) 2. 情操を豊かにする活動(さくら祭・オセロ大会・七夕がざり・お月見団子づくり・あみもの教室・おもつき・かるた大会・双六ゲーム・紙芝居・映画会・こままわし教室・工作教室・けんだま教室 等) 3. 地域組織団体等との共催事業(おもちゃの病院) 4. 子育て支援活動(幼児グループ活動・乳幼児グループ及び子育てサークルの自主活動支援 等)										

⑤経費	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点 ・所沢市児童館安全管理マニュアルの内容を再検討した。						

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		4,124	4,779	4,862	
	決算(見込み含む)		3,174	3,782		
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(2.40 人)	(人)	(2.60 人)	
	正規職員人件費		2.40 人	22,080	2.60 人	24,424
	公債費					
	事業費合計		25,254	28,206		
	財源内訳	一般財源	25,254	28,206	4,862	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		74.7	83.2		
	利用者一単位あたり(単位:円)		1,480.6	1,662.4		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	開館日数	年間開館日数	日	294	294	293	295
		1日平均利用者	年間利用者/開館日数	人	58	57	57	68
		主催事業	年間実施回数	回	54	53	55	60
成果分析	利用者	年間利用者数	人	目標値	18000	18000	18000	20000
				実績	17057	16967	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
			%	達成率	95.0	94.0		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益と負担の関係	受益者負担の有無
他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要ななし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
明らかとなった課題	児童館は、児童の安全・安心な居場所づくりとして、今後さらに地域福祉の拠点として求められている。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)		達成水準(どこまで)		時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定		施設環境を整備する。		今年度中
	施設及び備品の老朽化や破損状況等を精査し、対応できるものに対しては、整備に努める。また、大規模な修理を要するものに対しては、対応策並びに今後の修理計画を立てる。				
	平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	児童館は、児童に健全な遊びの場を提供し、さらに乳幼児の育成支援や中高生を対象とした居場所づくりまで、児童の年齢に併せて、指導や活動を行っている。さらに自治会などと地域との連携を図っており、今後さらに児童の健全育成の拠点づくりとして求められている。				
評価日	平成20年5月16日	記入者職氏名	館長 渡辺 康幸		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性								
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了							
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了							
	評価理由	評価日							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ... 無し						計画コード	
◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ... 無し						計画コード	
基本目標	1 子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします								
主要課題	1 子どもたちの知識・能力の育成								
施策の方向	1 豊かな心と健やかな身体の育成								

⑨個別計画における方向性	施策の体系	施策の方向
	◎環境基本計画	
	◎次世代育成支援行動計画	
	基本目標	
主要課題		
施策の方向		